

(案)

# 鉄道事業再構築実施計画

## 鉄道事業再構築実施計画

### 1. 鉄道事業再構築事業を実施する路線及びその区間

四日市あすなろう鉄道株式会社 内部線（あすなろう四日市～内部間：5.7 km）

八王子線（日永～西日野間：1.3 km）

輸送密度（全線）：3,692人（令和5年度）

### 2. 地方公共団体その他の者による支援の内容

#### (1) 四日市市による鉄道施設・車両の取得、保有等、鉄道用地の借受

支援策	内容
鉄道施設・車両の取得、保有等、鉄道用地の借受	四日市市が近畿日本鉄道(株)から鉄道用地を借り受け、鉄道施設・車両を取得、保有し、第三種鉄道事業者として第二種鉄道事業者となる四日市あすなろう鉄道(株)に無償で使用する。
	四日市市は四日市市内部・八王子線鉄道施設条例（平成25年12月27日公布）及び内部・八王子線存続のための事業形態変更に関する確認書（平成25年12月26日交換）に基づき、四日市あすなろう鉄道(株)に鉄道施設、車両及び鉄道用地を無償で使用する。

#### (2) 四日市市による設備更新、維持修繕等に要する費用の負担

支援策	内容
設備更新費の負担	四日市市が第三種鉄道事業者として、計画的に鉄道施設・車両の設備更新を実施する。
維持修繕費等の負担	①四日市市が第三種鉄道事業者として、線路、電路等の維持修繕を四日市あすなろう鉄道(株)に委託して実施する。 ②四日市市が第三種鉄道事業者として、レールや枕木等の大規模な修繕を計画的に実施する。 ③四日市市が車両所有者として、車両の維持修繕を四日市あすなろう鉄道(株)に委託して実施する。

#### (3) 四日市市による利用促進・増収策の推進

支援策	内容
まちづくり施策、沿線地域と連携した利用促進・増収策の実施	①駅前広場の整備による利用増進策の実施 内部・八王子線の分岐駅となる日永駅において駅前広場の整備を行い、キス&ライドの実施体制を構築する。 ②沿線地域等と連携した利用促進・増収策の実施 沿線の地元団体等による駅の美化活動、あすなろう鉄道を活用したまちづくり事業、イベント列車や鉄道グッズの販売等の実施により利用促進・増収策を実施する。

### 3. 旅客鉄道事業の事業構造の変更の内容

四日市あすなろう鉄道の公有民営方式による事業構造は、平成27年4月より、第一種鉄道事業者である近畿日本鉄道（株）が四日市市に鉄道施設及び車両を無償譲渡し、鉄道用地を無償で貸与することで、四日市市が第三種鉄道事業者として鉄道施設や鉄道用地の保有等を行い、四日市あすなろう鉄道（株）が四日市市から鉄道施設、車両及び鉄道用地を無償で借り受けて第二種鉄道事業者として運行を行ってきた。

また、収支構造として、第二種鉄道事業者である四日市あすなろう鉄道（株）が事業運営により利益が発生した場合は、その相当額を四日市市内部・八王子線基金に拠出し、逆に損失が発生した場合は第三種鉄道事業者である四日市市は基金等を活用してその相当額を支援するといったものであり、引き続き継続して実施する。

### 4. 鉄道事業再構築事業の実施予定期間

- ・事業開始予定年月日：令和 7年 4月 1日
- ・事業終了予定年月日：令和16年 3月31日

## 5. 鉄道事業再構築事業の実施に必要な資金の額及びその調達方法

項目		事業費 (百万円)	負担額 (百万円)	調達主体	調達方法		実施 年度
					適用助成制度	起債の有無	
<b>■維持修繕等にかかる経費</b>							
鉄道施設・車両等保守業務委託費		1,129	1,129	四日市市	地方単独	無	R7~16
鉄道施設修繕費		827	414	四日市市	鉄道軌道安全 輸送設備等整 備事業、 鉄道施設総合 安全対策事業	無	R7~16
鉄道施設修繕費		614	614	四日市市	地方単独	無	R7~16
計		2,570	2,157				
<b>■設備投資費</b>							
信号保安	遮断機 継電器 など	336	168	四日市市	鉄道軌道安全 輸送設備等整 備事業、 鉄道施設総合 安全対策事 業、 地域公共交通 再構築事業、 地域公共交通 確保維持改善 事業、 地域における 受入環境整備 促進事業	無	R7~16
電路	電柱 電車線	109	55				
停車場	ホーム改良	139	70				
線路	まくらぎ改良	360	180				
改札設備	ICカードシステム整備	33	17				
その他	トイレ洋式化	25	17				
その他	電路 車両 など	198	198	四日市市	地方単独	無	R7~16
計		1,200	705				
<b>■利用促進施策経費</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四日市あすなろう鉄道を活用したまちづくり事業</li> <li>・ イベント列車の企画・運行</li> <li>・ 遠足や社会見学等における利用促進活動の実施</li> <li>・ 鉄道イベント等によるPR活動の実施</li> <li>・ 鉄道の乗り方講習の実施</li> </ul>		3,300	3,300	四日市市	地方単独	無	R7~16

## 6. 利用者の利便の確保に関する事項

人口減少社会において、限られた資源の中で都市を維持・管理していくために、都市形成の中で育んできた都市基盤や公共資本、都市機能などの既存ストックを有効に活用するとともに、交通ネットワークと連携した、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」による持続可能なまちづくりを進めていく必要がある。

そのために、市街地の無秩序な拡大を抑制し、都市機能と自然環境の調和を図るとともに、これからの人口規模や構造、市民の活動に見合った都市づくりに向けて、中心市街地などの都市機能集積地、既存の拠点的商业機能や就業地など、それぞれの地域の特性や機能などを踏まえた拠点化を推進する。

また、既成市街地や郊外住宅団地、鉄道駅周辺など、それぞれの地域特性に応じた居住地の住環境の向上を図るとともに、こうした居住地と都市の拠点が効率よく結ばれた交通ネットワークの維持・充実を図っていく。その際には、多様な移動ニーズに対応するため ICT や IoT 技術、自動運転技術などの新技術の活用、広域ネットワークを生かした交通利便性の向上を図っていく。

その中で、四日市あすなろう鉄道は市南部地域と中心市街地を結ぶ重要な路線であり、より快適で便利に利用できるよう整備を進めるとともに、本市における公共交通に関する施策の実施を行う。

### (1) 住民、来訪者の移動手段の確保

#### ① 生活圏内の移動特性に応じた交通手段の確保

公共交通が整備されていない地域では、高齢者など交通弱者の移動手段の確保を行う。

##### 【取組み内容】

- ・市街化調整区域の公共交通不便地域に住む方に対して、公共交通利用環境改善のため、予約に応じてタクシーを運行する「デマンドタクシー」を令和3年10月から開始した。

利用状況を踏まえ、利用ニーズを把握した上で要件の変更等を検討し、引き続き移動手段の確保に向けて取組むことにより、あすなろう鉄道を含む鉄道駅等への暮らしに必要な移動手段の確保を行う。

### (2) 地域社会全体の価値向上

#### ① コンパクトなまちづくりの実現

リニア中央新幹線や広域幹線道路の整備による将来ネットワークの活用も視野に、35 駅を有する鉄道と近鉄四日市駅を起点としたバスによる公共交通ネットワークの維持・再編を図り、機能の維持・強化を図る拠点と、それぞれの特性に応じて魅力を高める居住地とが効率よく結ばれた持続可能な都市構造の形成を目指す。

##### 【取組み内容】

- ・利用者の減少している路線や公共交通不便地域などで、支線バス化・コミュニティバスの実証実験などによるバス路線の再編に着手するとともに、利用者の多いバス路線などに連節バスの拡充に加え、あすなろう鉄道を初めとした既存の鉄道網と連携したまちづくりを進める。

## ② まちのにぎわいの創出や健康増進

・まちなかへは、市内外から鉄道やバスを利用した来訪が可能で、まちなかでは、次世代モビリティなどで自由に行きたい所へ移動できるとともに、DX（デジタル変革）を活用した居心地が良く歩きたくなる空間の整備を目標に以下の取組みを実施。

### 【取組み内容】

・中央通り再編を実施するなか、まちなかにおける移動手段の充実と既存公共交通との連携に向け、次世代モビリティ（自動運転技術、パーソナルモビリティなど）の導入を推進し、AIやIoTなど新たな技術を活用し、市内の回遊性及び公共交通の利便性向上に取り組むことにより、あすなろう鉄道を利用し外出機会の増加を図る。

また、あすなろう四日市駅への乗り継ぎ環境が向上することにより、あすなろう鉄道の沿線（西日野駅）にある市内最大の総合公園（南部丘陵公園）へ円滑に移動でき、公園利用による健康増進を図る。

・四日市バスターミナルの整備を含めた、あすなろう四日市駅を区域に含む中央通り再編を行うとともに、スマートリージョン・コアの実現に向けた取組みを進める。

## ③ 観光振興施設との連携による交流の活発化

・リニア開通を機に、首都圏との交流が飛躍的に高まることが期待される。

人と人との交流によって生み出された知恵が、新たな産業や文化を育む力になることから、四日市市の玄関口である中心市街地を、まちの魅力と活力をひと目で見て取り、体感できる象徴性を持った高次な都市機能が集積する、活力あふれる都市を実現することを目指す。

### 【取組み内容】

・観光客等の来訪者の移動の利便性や周遊性を向上させるため、近鉄四日市駅の駅前空間の整備（円形デッキ等）や歩行者を中心とした交通に滞留や活動の場といった機能も取り入れたウォークアブルな空間、交通結節点（バスターミナル）の整備を行い、あすなろう鉄道への快適に乗り継げるよう取組む。

## ④ 地球温暖化対策をはじめとする環境問題への対応

市民一人ひとりが自動車への過度な依存を見直し、公共交通や自転車を活用したライフスタイルを進める。

### 【取組み内容】

・交通イベント（環境フェア）や出前講座などを通じて、あすなろう鉄道の利用促進や交通手段の選択について考える機会が増やし、公共交通を積極的に利用するなど意識やライフスタイルの変革を進め、輸送量当たりの二酸化炭素排出量が最も小さい鉄道への利用転換を図る。

### (3) 安全・安心で質の高いサービスの提供等

#### ① 安全・安心な運送サービスの提供

鉄道輸送では、サービスの維持・向上及び安全性の確保とともに利用の拡大を図り、地方鉄道及び支線の路線維持を図る。

##### 【取組み内容】

- ・ 鉄道施設の計画的な更新による安全性を確保するため、まくらぎや信号保安設備、道床、レール等の更新を実施する。
- ・ 誰もが利用しやすい公共交通を目指し、停車場設備の段差解消や、障害者割引を I C カードに対応したシステムの整備を実施することにより、バリアフリー化を進め、誰もが利用しやすい公共交通を目指す。
- ・ 軌道強化のため、木まくらぎを合成まくらぎ等に更新を行うことで、事故の抑制を図り、定時制の確保に努める。

#### ② シームレスな運送サービスの提供

鉄道と幹線バス網を中心に、支線バス・コミュニティバスなどが連携し、中心市街地や病院・学校など、暮らしに必要な拠点施設へ快適で便利に行くことができる公共交通ネットワークが形成される。

##### 【取組み内容】

- ・ 鉄道支線・地方鉄道の利用拡大に向けて P&R 施設として駅前広場（日永駅）の整備を進める。
- ・ 交流と交通の複合拠点（コミュニティターミナル）づくりを進め、あすなろう鉄道を含む複数の公共交通の乗継利便の向上を図る。
- ・ 鉄道やバスといった各交通事業者間の共通 I C カードの導入やバスロケーションシステム、バスマップの作成を進める。

#### ③ 定時制の確保、速達性の向上

鉄道輸送の安全性を確保し、定時制、速達性を図る。

##### 【取組み内容】

- ・ 鉄道施設の計画的な更新や軌道強化のため、木まくらぎを合成まくらぎ等へ更新を行うことで事故の抑制を図り、定時制の確保に努める。

#### ③ 乗りたくなるサービスの提供

全国でも珍しいナローゲージの鉄道として、市の観光資源となっている四日市あすなろう鉄道を活用した企画の提案を募り、市民主体によるまちづくり活動の推進し利用促進を図る。

##### 【取組み内容】

- ・ イベント列車の企画・運行
- ・ 遠足や社会見学等における利用促進活動の実施
- ・ 関連グッズの企画・販売

#### (4) 新たな技術やサービスの活用による利便性向上の促進

##### ① 新たな技術を活用した利用者の利便性向上

公共交通不便地域における交通手段の確保に向けて、地域の特性に合わせ、駅から自宅等、端末交通としてのラストワンマイルの移動手段として、デマンド交通の検討を進め、活用につなげる。

##### 【取組み内容】

- ・ 交通不便地域でA I活用型乗合デマンド交通の実証実験を行い、鉄道駅へのシームレスな乗り継ぎ環境を目指し利用者の利便増進を図る。

##### ② 新たなモビリティサービスを活用した利用者の利便性向上

新技術を取り入れた交通手段を実現することで、誰もが自由に移動できる環境を整備する。

##### 【取組み内容】

- ・ 地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、あすなろう鉄道を含む複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済などを一括で行い、飲食店や観光などの目的地における交通以外のサービスなどと連携したMaaSの導入に向け、MaaSの機能や役割、それによってもたらされる効果を踏まえ検討を進める。

##### ③ データの共有・利活用の促進

バスロケーションシステムを活用した運行情報の発信やGTFISを活用した経路検索システムによる情報提供など、利用者の利便性を向上するサービスの強化を図る。

##### 【取組み内容】

- ・ 主要駅においてはそれら運行情報を提供する総合案内板などを設置する。

## 7. 鉄道事業再構築事業の効果

・第三種鉄道事業者（四日市市）が鉄道施設などを所有し、第二種鉄道事業者（四日市あすなろう鉄道）に無償で使用させ、持続的運行を目標とした取組の推進を図る。

## (1) 利用者数

- ・令和5年度：2,820千人（平成27年度～令和5年度の減少率、8.49%）
- ・令和16年度：2,696千人（令和7年度～令和16年度の減少率、4.21%）

## (2) 第二種鉄道事業者の事業収支

令和7年度から第二種鉄道事業者の営業収支の均衡を実現する。

（令和6年度見込み 18,000千円）

## 8. 鉄道事業再構築事業に関連して実施される四日市市地域公共交通計画に定められた事業に関する事項

公有民営方式での四日市あすなろう鉄道の運行継続及び利便性の向上	
実施主体	四日市市、四日市あすなろう鉄道
実施内容	「公有民営方式」に転換した四日市あすなろう鉄道の運行を継続及び利便の確保に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・四日市市が鉄道施設などを保有し、列車の運行を四日市あすなろう鉄道株が実施する</li> <li>・「鉄道事業再構築実施計画」に定めた事業の実施</li> </ul>
四日市あすなろう鉄道における遠足や社会見学などでの利用促進	
実施主体	市民、四日市市、四日市あすなろう鉄道
事業内容	沿線小学校、中学校、高校などの遠足、社会見学などにおける四日市あすなろう鉄道の利用を促進することで、こどもの頃から四日市あすなろう鉄道に慣れ親しみ、愛着を醸成することで、利用促進につなげる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線の学校に利用をPR</li> </ul>